

すぎぞ まちこんじゃくしゅういろく 杉戸町の昔拾遺録

温古知新
杉戸の歴史をばれ話

第4回

杉戸町の縄文遺跡について

杉戸町には多くの縄文時代の遺跡が見つかったことは既にお伝えしてきたとおりです。今回は、町内の遺跡では比較的調査が進んでいる県選定重要遺跡でもある「木津内貝塚」について触れたいと思います。

木津内貝塚は、縄文時代前期の集落遺跡です。これまでの発掘調査では、30軒以上の竪穴住居が見つかっています。また、この竪穴住居の堆積土からは、多量の縄文土器と石器が見つかっています。縄文土器の形は様々かつ複雑怪奇ですが、大きく「深鉢形」と「浅鉢形」の2種類に分けることができます。なお、「深鉢形土器」は煮炊きや、貯蔵に適しており、縄文土器の大半を占めています。石器は粗雑に作られた打製石斧や、黒曜石、チャートや流紋岩で作られた石鏃等が見つかっています。

さて、遺跡の名称に「貝塚」と入っているからには当然、貝塚の発見を期待するのですが、調査で見つかった貝塚は使われなくなった竪穴住居をゴミ捨て場として再利用した「地点貝塚」とよばれる小規模なものでした。木津内貝塚で見つかった貝の種類は、点数が多い順からアサリ、シオフキ、マガキ、ナミマガシワ、ハマグリ、ハイガイ、サルボウ、アカニシ、カワアイ、ヒメエガイ、マテガイetc....多岐にわたります。よく目にする貝もあれば、あまり耳慣れない貝もあると思います。シオフキやサルボウ等は特に珍しい貝ではありませんが、食用としては、あまり流通していないので皆さまの膳に上がることは滅多にないものだと思います。また、貝塚からは魚骨や多種多様な哺乳類の骨が出土することもあります。貝塚は縄文人の「ゴミ捨て場」であると前述しました。廃棄物から得られる情報は膨大で集団がどのような生活を送っていたかを探る重要な手がかりとなります。



竪穴住居から見つかった貝塚と土器

Instagram 始めました!



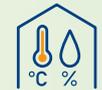
(社会教育課 町史・文化財担当編)

熱中症を 予防しよう!

問合せ 健康支援課 ☎ (34) 1188

今年も暑い夏がやってきました。熱中症は、予防法を知っていれば防ぐことができます。みんなで熱中症を予防しましょう。

- 1 上手にエアコンを使用**
 高齢者や持病のある方は、暑さで徐々に体力が低下し、室内でも熱中症になることがあります。節電中でも上手にエアコンを使いましょう。
- 2 暑くなる日は特に要注意**
 熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。暑い時間帯の外出をできるだけ控えましょう。
- 3 水分はこまめに補給**
 知らないうちに汗をかいていることがあります。のどが渇く前に水分を補給しましょう。寝る前も忘れずに!
- 4 「おかしい!?!」と思ったら病院へ**
 熱中症は、めまい、頭痛、吐き気、倦怠感などの症状から、ひどいときには意識を失い、命が危険になることもあります。「おかしい」と思ったら、涼しいところに避難し、医療機関に相談しましょう。
- 5 周りの人にも気配りを**
 自分のことだけでなく、ご近所で声を掛け合うなど、周りの人の体調にも気を配りましょう。



熱中症予防の5ポイント



UD FONT
by MORISAWA

読みやすい書体であるユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE